



# ほっとほ～む

〔発行〕 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎072-953-3881 Fax072-953-3882

〔発行責任者〕 園長 小山 道彰 (Email) takawashi@miracle.ocn.ne.jp

〔住所〕 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号



## 新年あけましておめでせう(ま)ざいます



旧年中は地域及び各学校、各関係者の皆様には日ごろよりの温かいご支援ありがとうございました。

また、町会関係の諸会議、諸行事も出席させて頂き、地域のつながりの強さを肌で感じることもでき良き体験をさせて頂きました。まだまだ、浅くしか理解できておりませんが、できるかぎり多くの方々と接する機会をもてればと思います。

また、私自身もこの高鷲学園に赴任して初めての正月を迎え、また新たな気持ちで身の引き締る思いです。こどもたちも新たな年を迎えることができ、ゆっくりとした正月を過ごすことができたのではないのでしょうか。

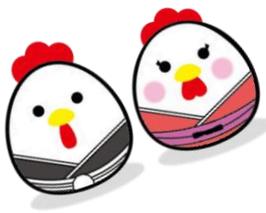
高鷲学園では、一昨年は高鷲ホーム「うめのさと」(グループホーム)の開設、去年は本体施設内に小規模のユニットケア(各個室)2箇所の改築などこどもたちにとってはより暮らしやすい場へと開設に至りました。また、間も

ないために、こどもたちも日々何かといろいろありますが、職員もその対応等に奮闘しているところです。

現在、高鷲学園には70名前後のこどもたちが過ごしています。家庭の状況で一時的に保護することもたちも近年に増加しています。また、2015年度は直近の数字でも全国の虐待通報件数が100万件を越えたとの報告もあり、統計を取り出しているからでも増加の一途を辿るばかりです。養育環境の悪化などもその要因となつていますが、気になる統計が大阪市から報告されました。それは「大阪市子どもの生活に関する実態調査(小学生5年生、中学生2年生対象)」、年9月30日公表の「速報値単純集計」(回答数27829名)です。その中で朝食では、「食べない」が小学生161名、中学生388名、さらに夕食を「食べない」ことも「食べない」と「週1回しか食べない」と合わせて31名、これらの理由と

しては「用意されていない」「分らない」などと回答しています。朝食も夕食もおうちの「大人」と一緒に食べているかについて、「まったくない」の回答は朝食3841名、夕食361名(小中学生計)と一言では片づけられない問題も横たわっていると感じます。昨今、貧困と虐待の中で暮らすこどもたちの事案が多数あります。

高鷲学園のこどもたちも例外ではありません。少なくともその中で育ってきたこどもたちには、安心して、安定した暮らしがどれほど大切であるか、こどもたちもさらに実感できる高鷲学園であることに今年も願いつつ、職員一同その努力を継続してゆきたいと思っております。(施設長 小山 道彰)



# ふれ愛有志の会

学園の子どもたちが毎年楽しみにしている、ふれ愛有志の会さんからの招待行事がありました。

今年は10月末の日曜日、石川河川公園と河川敷のグラウンドにて「大運動会&バーベキュー大会」を行っていただき、学園の幼稚園児から高校生までの子どもたちと職員、合わせて約50名が参加しました。

出発前から子どもたちはとても楽しみにしており、「いつ出発するん?」「もう靴はいて準備していい?」と待ちきれない様子が見られました。

運動会では赤・青・黄・白の4チームにわかれ、玉入れや綱引き、障がい物競走、全員リレーなどのさまざまな競技を楽しみました。始めはハチマキを巻くのも恥ずかしがって、モジモジと遠慮気味だった子どもたちも、いざ競技が始まればチームメイトに大きな声援を送ります。自分の出番が来れば真剣に取り組み、チームの勝



敗に一喜一憂している様子が見られました。

風食のバーベキューでは、子どもたちの大好きなお肉やワインナー、おいしい野菜など食べきれないほど沢山の食材を用意してくださり、子どもたちはお腹いっぱいで大満足でした。

午後からの競技でも白熱した戦いが繰り広げられ、表彰式では各チームの順位に合わせて豪華な景品を頂きました。

途中、雨も心配される天候の中での実施となりましたが、子どもたちの元気で雨雲も吹き飛ばし、笑顔いっぱい行事となりました。(野本)

# 幼児七五三

肌寒い日が続いていましたが、七五三当日は、少し汗ばむほどの温かい天気の良い気候に恵まれました。

出発前から綺麗なスーツとワンピースを見た子どもたちは、目を輝かせていました。綺麗に身を包んだ子どもたちは、照れながらも職員に「かわいい?」「かっこいい?」と見せて回っていて、とても嬉しいそうにしていました。

車に乗り込み出発すると、「まだ?」「もう着く?」などの言葉を何度も言っていて、楽しみにしていることが伝わってきました。

本殿に入ると周りの色々なものや出来事に興味を持ち、キョロキョロしていることがありましたが、お清めのお祓いやお神楽を舞ってお鈴を受ける時は、お話しを聞いて頭を下げるのができとても頑張っていました。おみやげをもらう時も、緊張している様子でオドオドしながらでしたが、きちんと年齢とお礼を言えた子どもが居



ました。最後には、子どもたちのいい顔を記念撮影することが出来て良かったです。

学園に帰ってくると、行っていない子どもたちや職員に道明寺神社での出来事をお話していたり、おみやげで持ち帰った物を広げて嬉しそうにしたりしていました。

道明寺神社にお招き頂き、出発から帰園まで数時間と短い間でしたが、子どもたちの成長した姿や頑張る姿を沢山見ることが出来、良い時間を送ることが出来たと感じました。(田中)



# さんまパーティー



高鷲学園では毎日たくさんのおかわり！という声が子ども達から職員へ届くようになりました。子ども達の食欲に答えようと毎日の食事を工夫したり、食の楽しみを取り入れた行事を行ったりしています。その一つとして月に1度の昼食会があります。10月30日には秋の味覚を届ける「さんまパーティー」が開催されました。天気も良く、何処か肌寒さを感じる秋空の下で、旬の食材を取り入れた栗ごはん、さんまの塩焼き、春菊のお浸し、豚汁、デザート（柿、ぶどう）をみんなで美味しく頂きました。網の上で焼かれるさんまは子ども達にとって新鮮だったようで、幼児さんだけでなく高校生も集まってきました。みんなで「頂きます。」と食事の時間が出てくると、お箸が伸びる場所はそれぞれ違い、真っ先にさんまの身をほぐす姿や、温かい豚汁や栗ごはんの栗、ごはんよりも先にデザートを手取る姿もありま



した。内臓が付いたさんまに箸は伸びても口まで運ぶことが難しい子もいましたが、美味しいと言いつつながらパクパク食べている子もいました。また、大きい子が小さい子に骨のとり方を教えている様子や、身から骨をきれいに取り除き、きれいに取れたことを職員に見て欲しい様子もあり、昼食会が子ども同士や子どもと職員の交流の場になっていったと思います。

毎日の食事と、このような機会を通して、色々な思いを抱えて過ごしている子ども達に誰かと食べる食事は格別美味しく、安心でき、楽しいひと時になることを覚えていて欲しいです。今後も高鷲学園では、子ども達に食の素晴らしさを伝えていけるよう努めていきます。(金)

# 高3生い立ち調理実習

高鷲学園では高校生の子ども達の自立に向けての取り組みとして調理実習を行っています。今回は高3調理実習ということでメニュー決めに取りかかり、食材の買出し、調理、後片付けに至るまで、すべて子ども達自身で進めることになっています。

今年度、園から集立っていく予定の子も達は3名です。どの子も園での生活が長く、家庭での調理の経験は余りないと思われる子ども達です。メニューを決める際、各々が希望を挙げた所、ロールキャベツ、チーズリゾット、キャベツを使ったスープというメニューに落ちつきました。

当日は近くのスーパーに皆で買出しに行き食材を購入しました。予算ギリギリまで使い、お釣りを8円しか残さないという計画性も垣間見え、子ども達の一番身近な大人としては、とても頼もしく感じる場面でした。調理の方も意外

せんが非常に手際がよく、大人が手助けをする場面はほとんどありません。レシピをスマートフォンで調べながら調理をする様はいまどきの若者といったところでしょうか。

出来上がった料理を皆でかきながら品評会をするのですが、これはこれでおいしいけど、やっぱり園のロールキャベツはおいしいなあと呟く子ども達なのでした。職員の知らぬ間に調理の技術も格段に上がっており、このまま行けば次の調理実習では鯛のカルパッチョみたいな洒落た料理も飛び出すのではないかと今から期待しています。園での経験が少しでも子ども達の糧になることを切に願っています。(板東)



# ほっとびとびと

担当のSちゃんとは去年からの付き合いになりますが、今年に入っても大きく成長を感じられる場面が増えました。自分の部屋でさえ一緒に片付けても1日経つと散らかっていたのが、今年に入って毎日の掃除は勿論常に綺麗な部屋を保っており、感激の毎日です。それに加え自らお手伝いをしてくれることも増え、彼女の成長を間近で見ることができ嬉しさを感じています。(豊田)

## 後援会の集いのお知らせ

日時 1月29日(日)

10時学園出発予定

今回の後援会の集いは、いちご狩りとBBQです。たくさんのご参加お待ちしております!!

お問い合わせは高鷲学園 川島まで

1月20日(金) 締め切り

## 寄付金・寄贈・招待を

### いただいた方(敬称略)

(2016年4月1日～2016年12月1日)

※尊いご支援に心より感謝いたします。

### 寄付金

F・O(富田林市) K・Y T U  
U・M(八尾市) 匿名 佐藤暢昭  
(神戸市) 道明寺天満宮 U(藤井寺市)

### 寄贈

ソフトバンク(株)(米) 株式会社ユアンナ(靴下) 希望のひかり基金(お菓子) 公益財団法人日本漢字検定協会(学習書籍) 大阪府時計宝飾眼鏡商業協同組合(電波時計) 協同食品(株)(ジュース) 浜田・木村法律事務所(お菓子) 株式会社フォーティ(冷凍海産物) ギャップジャパン(株) コーポレートコミュニケーションズ(靴下) サンテックス(パソコン)(株) オリムピア製菓(お菓子)

茨木市社会福祉ボランティア団体「手作りボランティア・ハニービー」(手提げ袋) 株式会社ユー・エス・シエイ(お菓子)

### 招待等

大阪府遊技業組合連合会青年部会(未来っ子カーニバル)(株) マンダイ(ドリームワールド) ゴールドマン・サックス証券株式会社(野球観戦) 希望のひかり基金(目で見ると自然教室) ガンバ大阪(サッカー観戦) 大阪府社会福祉協議会児童施設部会(近畿児童福祉施設スポーツ大会フットサル) 河内会(ソフトボール大会) 大阪府社会福祉協議会アフターケア事業部(ソーシャル・スキル・トレーニング、職場体験) マーりん・エンターテイメント・ジャパン株式会社(レゴランド) 株式会社サカイ引越センター(バスケットボール観戦) 道明寺天満宮(七五三) 三菱UFJフィナンシャル・グループ(観劇) ふれ愛有志の会(運動会) 公益財団法人オリックス宮内財団(オリックスグループスポーツフェスタ) ダルビッシュユウ子ど

も福祉基金(ぶどう狩り)

※今年度も篤志家よりいただいた寄付金で運転免許証取得費用や、自立のための生活支援金に使わせていただきます。また、定期的に振り込んで下さる方々もおられます。ありがとうございます。

ご支援ありがとうございます!!

